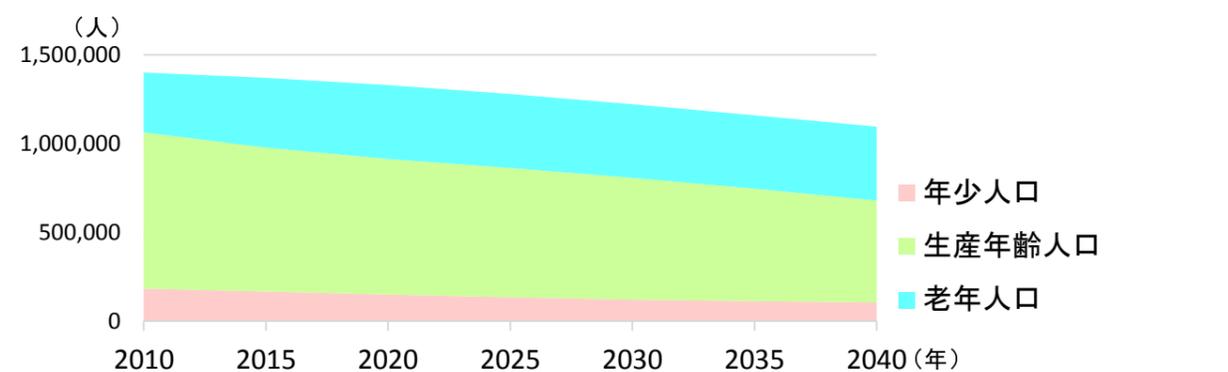


奈良県及び県内市町村の人口の将来推計 — 県計・地域別計 —

※社人研推計

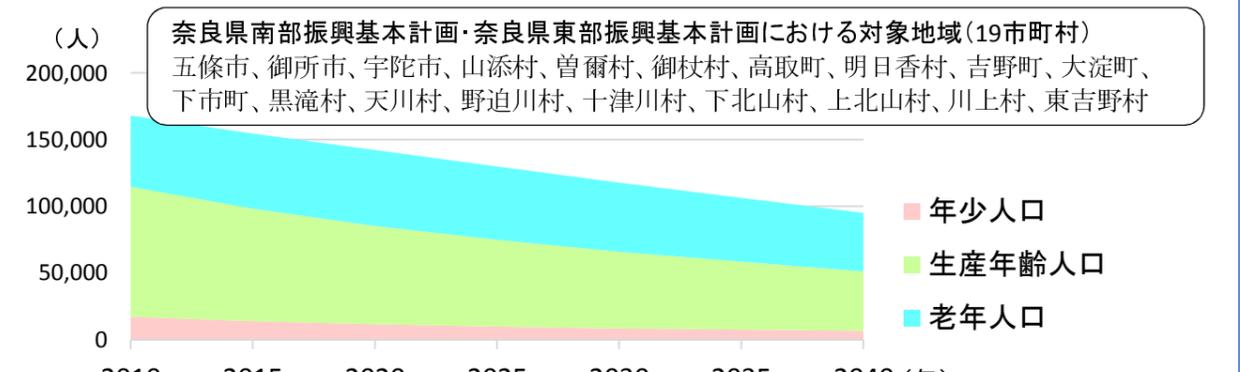
- **奈良県全体**では、**2040年に総人口が約2割減少(△21.7%)**するとともに、**老年人口比率が約4割(38.1%)**に増加する見通し。
- **人口増加地域**では、**年少人口・生産年齢人口の減少・老年人口の増**により、**総人口は微減(△3.2%)に止まるものの、老年人口比率は約1/3(33.0%)に増加**する見通し。
- **南部東部地域**では、**年少人口・生産年齢人口の大幅減**に加え**老年人口も減**となることから、**総人口は約4割減少(△43.4%)**し、**老年人口比率は約5割(46.3%)**に達する見通し。

奈良県計



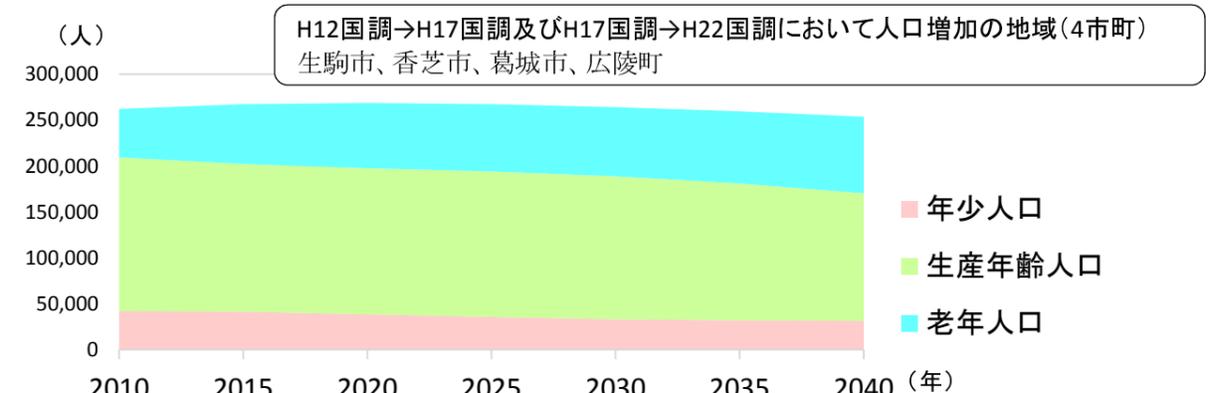
	2010年	構成比	2040年	構成比	増減数	増減率
総人口	1,400,686 人	100.0%	1,096,128 人	100.0%	△ 304,558 人	△ 21.7 %
(内訳)						
年少人口	184,161 人	13.1%	106,839 人	9.7%	△ 77,322 人	△ 42.0 %
生産年齢人口	880,279 人	62.8%	572,192 人	52.2%	△ 308,087 人	△ 35.0 %
老年人口	336,246 人	24.0%	417,097 人	38.1%	80,851 人	24.0 %

南部東部地域計



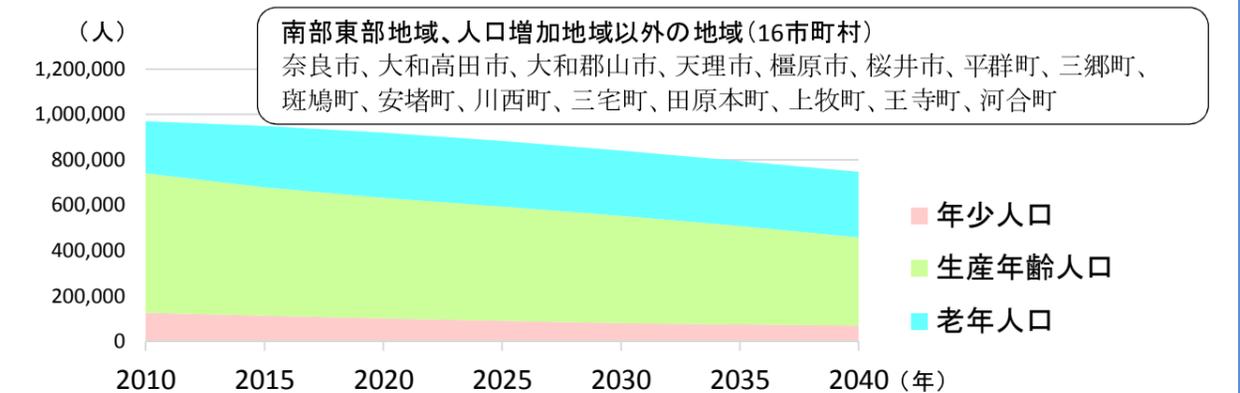
	2010年	構成比	2040年	構成比	増減数	増減率
総人口	167,965 人	100.0%	95,057 人	100.0%	△ 72,908 人	△ 43.4 %
(内訳)						
年少人口	17,181 人	10.2%	6,679 人	7.0%	△ 10,502 人	△ 61.1 %
生産年齢人口	97,404 人	58.0%	44,362 人	46.7%	△ 53,042 人	△ 54.5 %
老年人口	53,380 人	31.8%	44,016 人	46.3%	△ 9,364 人	△ 17.5 %

人口増加地域計



	2010年	構成比	2040年	構成比	増減数	増減率
総人口	262,264 人	100.0%	253,795 人	100.0%	△ 8,469 人	△ 3.2 %
(内訳)						
年少人口	41,713 人	15.9%	31,229 人	12.3%	△ 10,484 人	△ 25.1 %
生産年齢人口	167,780 人	64.0%	138,938 人	54.7%	△ 28,842 人	△ 17.2 %
老年人口	52,771 人	20.1%	83,627 人	33.0%	30,856 人	58.5 %

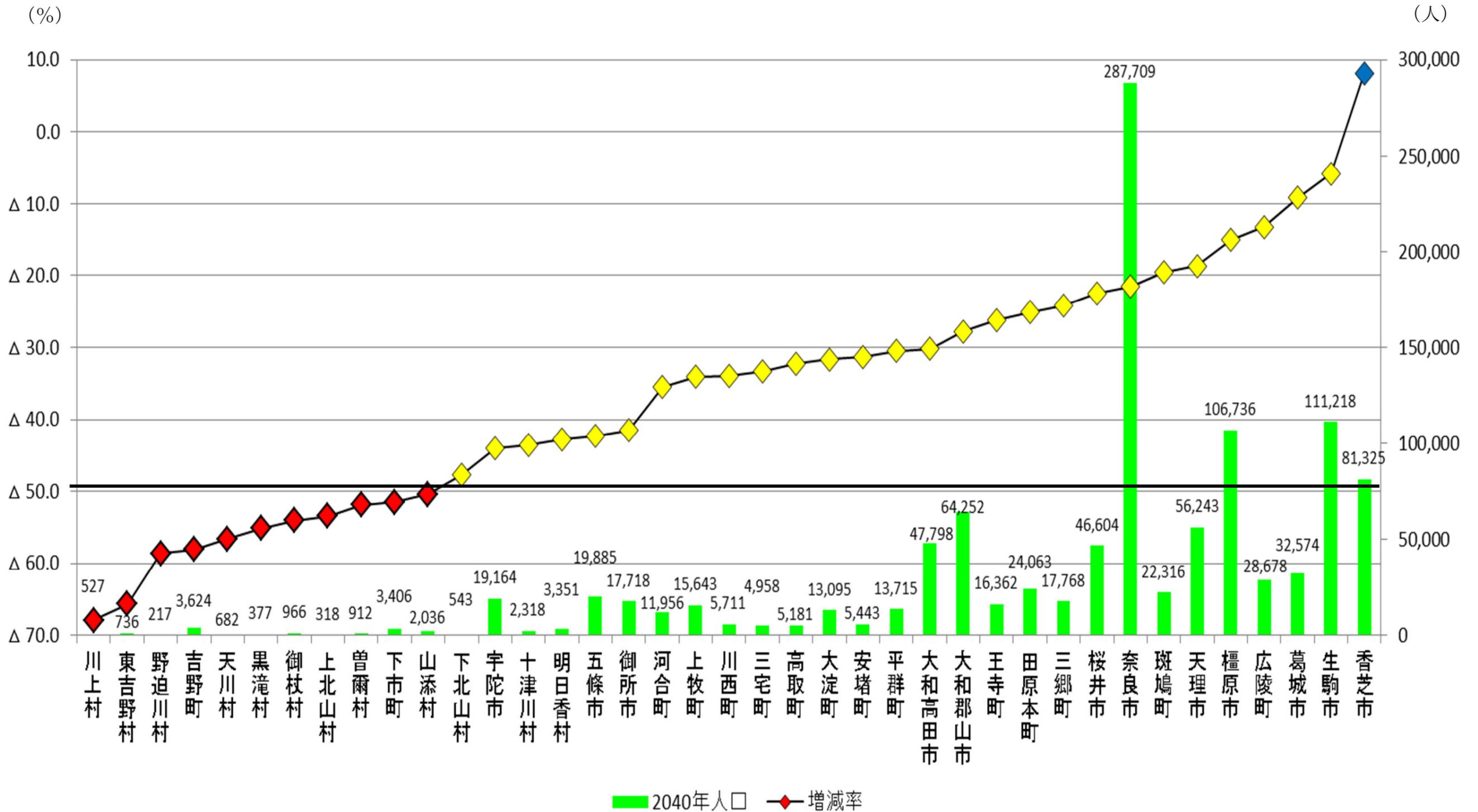
その他地域計



	2010年	構成比	2040年	構成比	増減数	増減率
総人口	970,457 人	100.0%	747,276 人	100.0%	△ 223,181 人	△ 23.0 %
(内訳)						
年少人口	125,267 人	12.9%	68,931 人	9.2%	△ 56,336 人	△ 45.0 %
生産年齢人口	615,095 人	63.4%	388,892 人	52.0%	△ 226,203 人	△ 36.8 %
老年人口	230,095 人	23.7%	289,454 人	38.7%	59,359 人	25.8 %

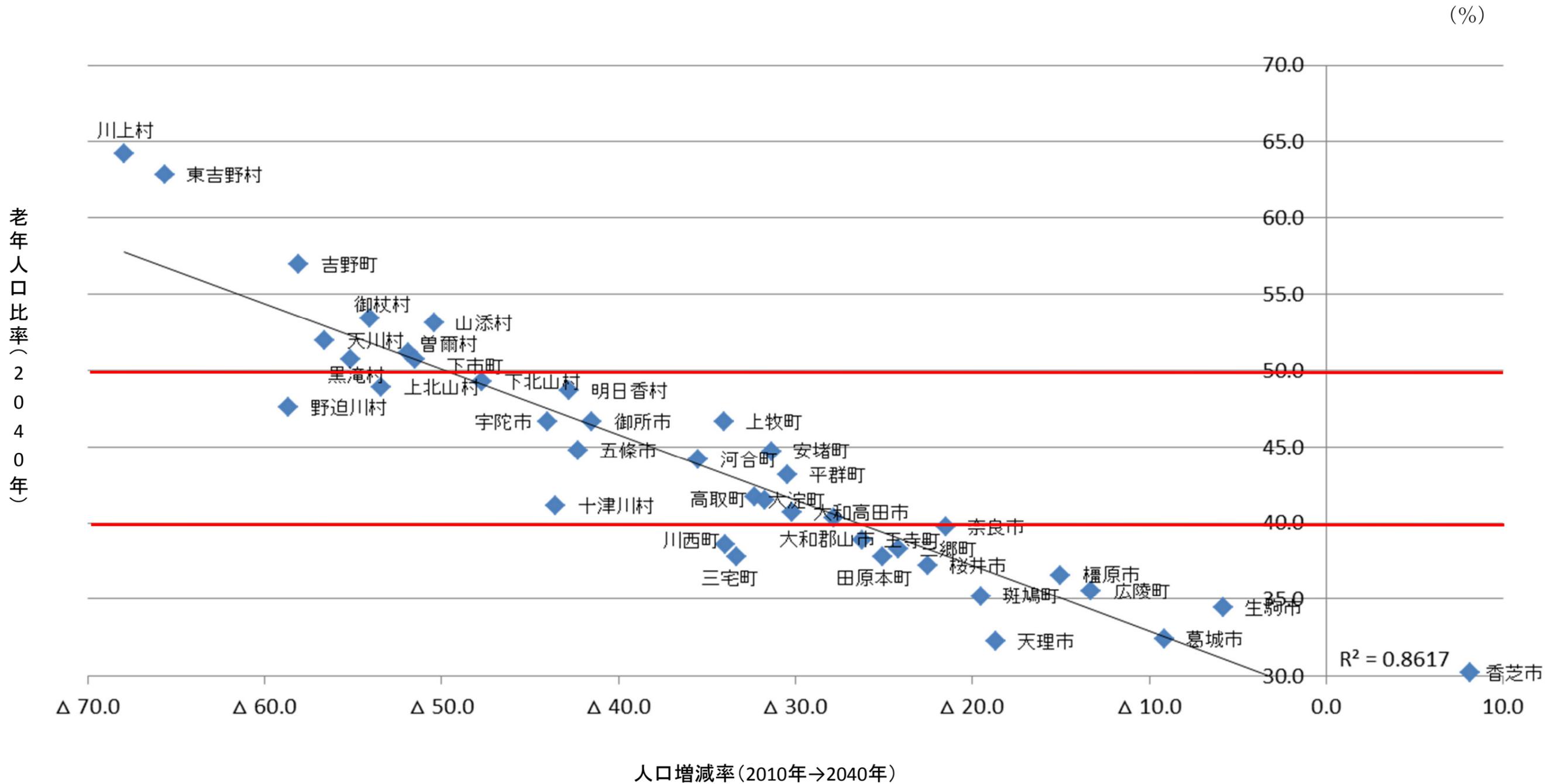
○ 2040年には香芝市以外の全ての市町村で総人口が減少する見通し。(11市町村で人口は半減する見通し。川上村・東吉野村では60%以上の減となる見通し。)

県内市町村の人口の増減率 (2010年→2040年)

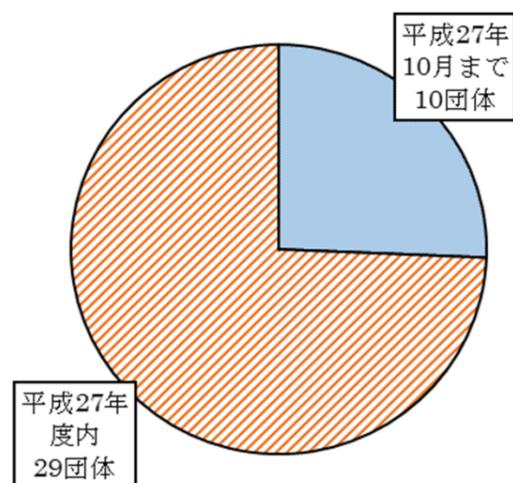


- **人口減少率**(2010年→2040年)が高い市町村ほど2040年の**老年人口比率**は高くなる傾向にあり、両者の値には**相関関係が認められる**($R^2 \approx 0.86$)。
- ただし、例えば、吉野町と野迫川村は人口減少率はほぼ同じ水準であるが、老年人口比率は10%近く乖離しており、**個々の市町村ではバラツキ**がある。
- **川上村・東吉野村では大幅な人口減少に加え老年人口比率が高水準**にある。

県内市町村の人口増減率(2010年→2040年)と老年人口比率(2040年)の関係

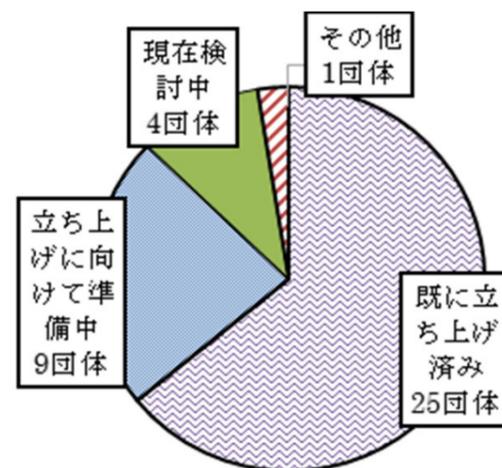


《地方版総合戦略の策定予定時期》



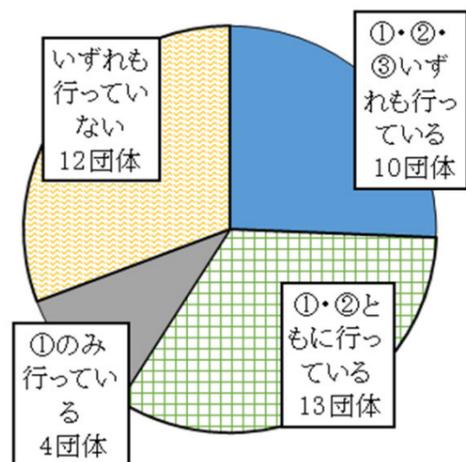
- ◆ H27年10月末までに総合戦略を策定予定の県内市町村
 - ・奈良市、大和高田市、天理市、桜井市、葛城市、安堵町、田原本町、吉野町、黒滝村、下北山村
- ◆ 総合戦略等を策定済の団体（全国）
 - ※5月13日現在の状況を内閣府に確認
 - ・会津若松市、那須塩原市、塩尻市、京丹後市、雲南市、高知県

《地方版総合戦略策定に係る庁内組織の設置状況》



- ◆ 庁内組織を立ち上げ済の市町村（既存組織の活用を含む）
 - ・奈良市、大和郡山市、天理市、桜井市、五條市、御所市、香芝市、葛城市、宇陀市、斑鳩町、安堵町、三宅町、曾爾村、御杖村、高取町、明日香村、王寺町、広陵町、河合町、吉野町、大淀町、下市町、十津川村、上北山村、川上村
- ◆ 立ち上げに向けて準備中の市町村
 - ・大和高田市、橿原市、平群町、三郷町、川西町、田原本町、上牧町、天川村、東吉野村

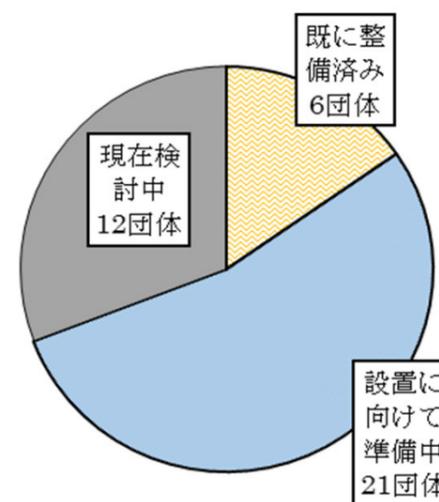
《人口の現状把握の進捗状況》



- 凡例
- ① 時系列・年齢3区分別人口を把握している
 - ② 社会動態・自然動態の統計データを踏まえた時系列推移を把握している
 - ③ 上記の2つに加え、市区町村間の移動状況などさらなる分析を行っている

- ◆ ①・②・③のいずれも行っている市町村
 - ・奈良市、桜井市、生駒市、広陵町、吉野町、黒滝村、天川村、十津川村、下北山村、上北山村

《地方版総合戦略策定に係る推進組織（住民や産官学金労言）の設置状況》

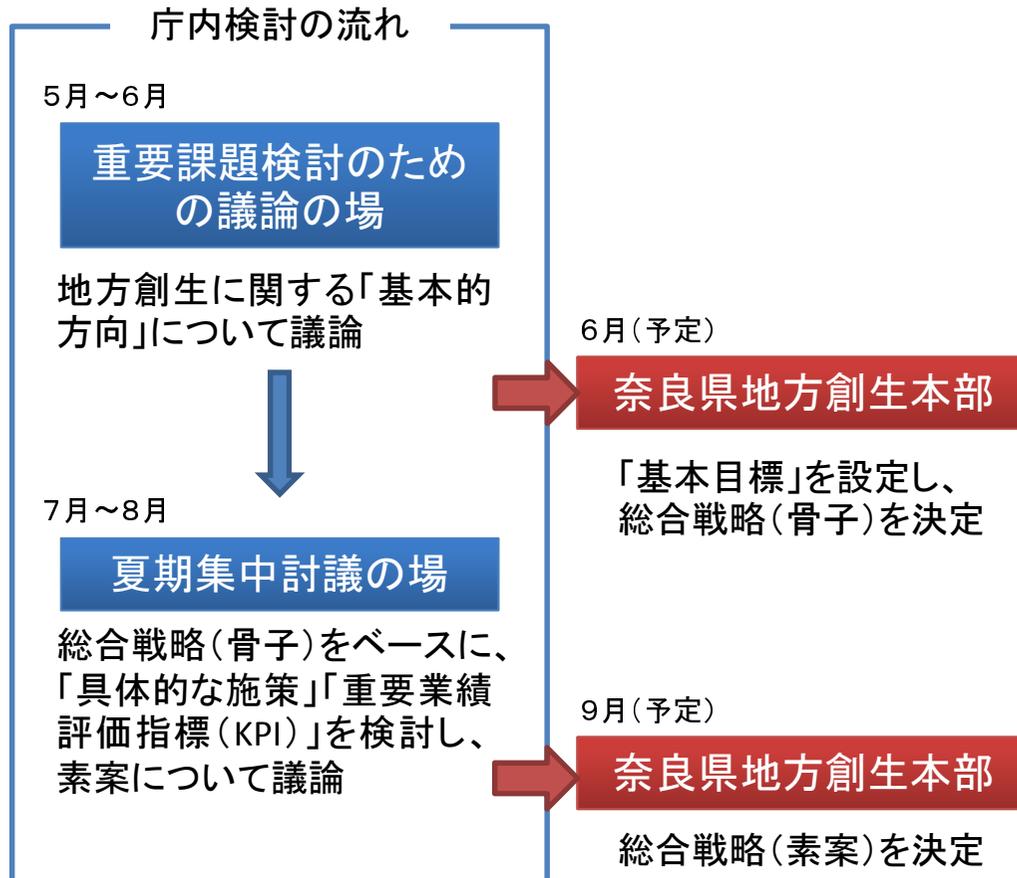


- ◆ 推進組織を整備済の市町村（既存組織の活用を含む）
 - ・桜井市、宇陀市、曾爾村、御杖村、王寺町、吉野町
- ◆ 整備済市町村における産官学金労言の参画
 - ・産：6市町村／6市町村（100%）
 - ・官：6市町村／6市町村（100%）
 - ・学：6市町村／6市町村（100%）
 - ・金：6市町村／6市町村（100%）
 - ・労：3市町村／6市町村（50%）
 - ・言：3市町村／6市町村（50%）

(参考)

「総合戦略」策定の検討体制(奈良県)

- 知事、副知事、全部局長で構成する
奈良県地方創生本部を設置 (平成26年8月)
- 県が掲げる政策ごとに、部局横断の議論による
庁内検討を展開 (平成27年5月～)



『主な政策集—もっと良くなる奈良県—』の政策

(経済の活性化)	
産業構造の改革	地域で働く人づくり
観光の振興	農林業の振興
(くらしの向上)	
健康づくりの推進	医療の充実
福祉の充実	こども・女性支援の充実
学びの支援	文化の振興
スポーツの振興	安全・安心の確保
景観・環境の保全と創造	エネルギー政策の推進
くらしやすいまちづくり	
南部地域・東部地域の振興	
効率的・効果的な基盤整備	
協働の推進	
市町村への支援	

「総合戦略」、「人口ビジョン」策定までのスケジュール(奈良県)

